

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立沼津西高等学校

沼津市本字千本1910-9

電話 (055) 962-0345

FAX (055) 963-5607

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	13
学校施設の概要	14
在籍生徒調	16
入学志願者及び入学者数調	17
卒業生の動向調（高等学校用）	18
生徒の状況	19
授業料収納状況調	20
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	21
預金調	22
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	23
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	24
委託料に関する調	25
負担金支出調	28
建築工事調	29
公有財産調	31
借地借家等調	32
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	32
行政財産貸付・使用許可調	33
職員公舎管理状況調	34
主要備品調	35
職員調	36
職員の年齢調	40
健康管理	41

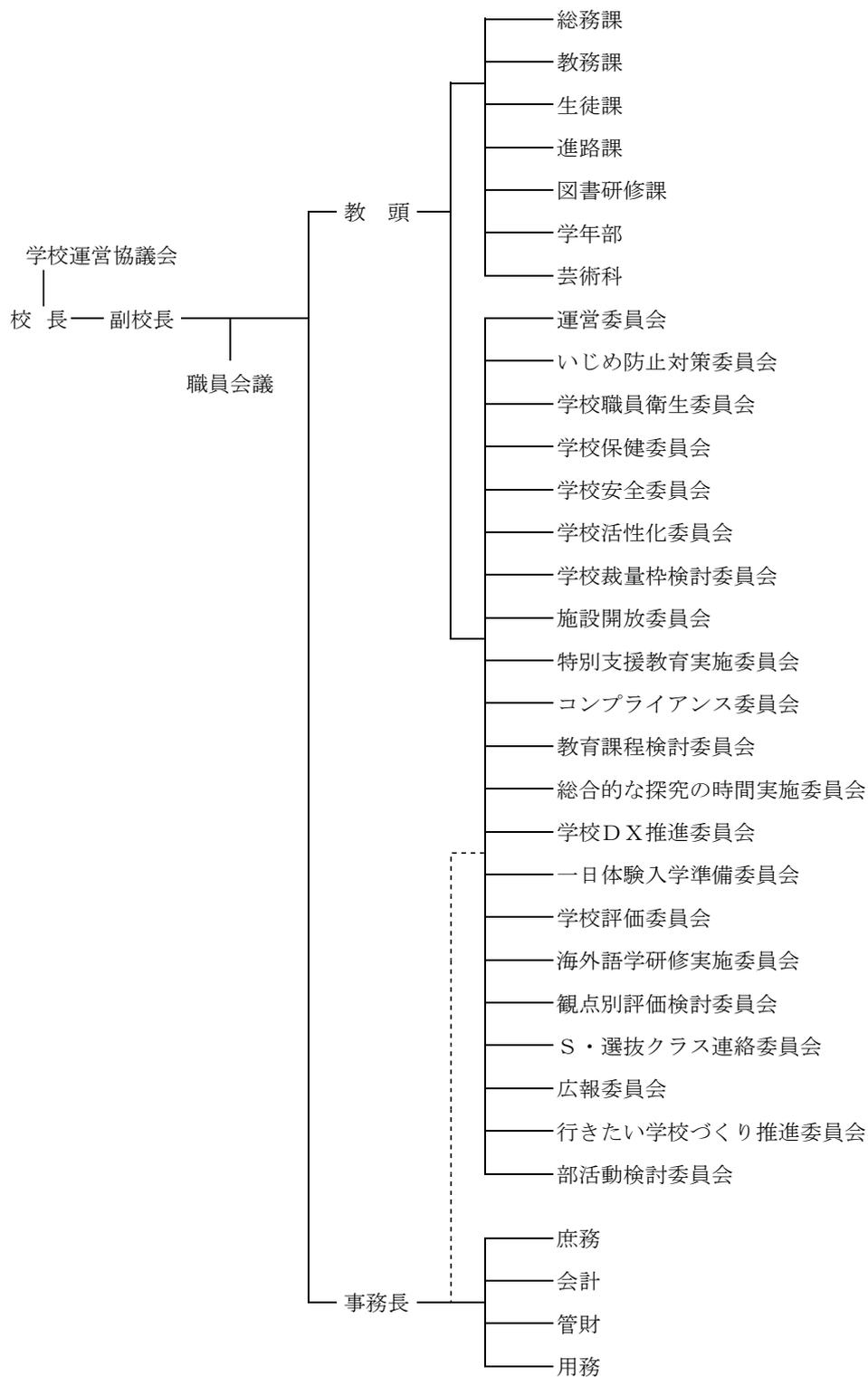
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

明治34年4月1日	私立駿東高等女学校設立認可
明治34年4月20日	私立駿東高等女学校として現沼津市大手町に開校
大正8年5月1日	郡立に移管、駿東郡立駿東高等女学校と改称
大正11年4月1日	県立に移管、静岡県立沼津高等女学校と改称
昭和8年3月31日	修業年限を5年とする。
昭和20年7月17日	戦災により校舎を焼失
昭和20年9月1日	旧沼津海軍工廠建物を仮校舎として使用
昭和22年4月1日	学制改正により第1学年の募集を停止し第2・3学年を新制中学とする。
昭和23年4月1日	学制改正により新制高等学校となり、静岡県立沼津第二高等学校と改称
昭和23年5月26日	高等学校のみ千本松下町に移転
昭和23年9月2日	併設中学校も移転
昭和24年4月1日	静岡県立沼津西高等学校と改称、新学区制により男女共学を実施する。
昭和27年7月24日	体育館兼講堂落成式挙行
昭和30年1月1日	学則の一部改正により普通課程・家庭課程を置く。
昭和32年10月29日	第12回国民体育大会のフェンシング会場となり天皇・皇后両陛下行幸啓遊ばさる。
昭和38年1月1日	学則の一部改正により、家庭課程の募集停止
昭和39年12月15日	校舎第一期工事落成式挙行
昭和40年3月31日	家庭課程廃止
昭和41年4月1日	生徒定員1,200人と定める。
昭和42年3月31日	特別校舎第二期工事完成
昭和43年3月31日	特別校舎・別館等第三期工事完成
昭和43年7月15日	プール移転工事完成
昭和44年3月4日	体育館兼講堂建築工事完成
昭和48年4月1日	生徒定員945人と定める。
昭和52年3月20日	球技コート改修工事完成
昭和55年5月24日	創立80周年記念式典挙行
昭和55年10月11日	LL教室設備完成
昭和59年10月30日	第二棟校舎耐震補強工事完成
昭和60年12月25日	特別教室棟建築工事完成（芸術棟）
昭和62年3月20日	普通教室建築工事完成（多目的教室）
昭和62年4月1日	生徒定員990人と定める。
昭和63年3月10日	運動場改修工事完成
昭和63年4月1日	生徒定員1,035人と定める。
平成元年4月1日	生徒定員1,080人と定める。
平成2年4月1日	生徒定員1,035人と定める。
平成2年11月20日	創立90周年記念式典挙行
平成3年4月1日	生徒定員990人と定める。
平成4年4月1日	生徒定員945人と定める。
平成4年9月28日	夜間照明施設完成
平成5年4月1日	生徒定員931人と定める。
平成6年3月25日	運動部部室完成
平成6年4月1日	生徒定員910人と定める。
平成7年4月1日	生徒定員882人と定める。
平成8年4月1日	生徒定員861人と定める。
平成9年4月1日	生徒定員847人と定める。
平成10年4月1日	生徒定員840人と定める。
平成12年4月1日	生徒定員800人と定める。
平成13年4月1日	生徒定員760人と定める。
平成13年10月10日	創立100周年記念式典挙行
平成14年3月20日	駐輪場完成
平成14年4月1日	生徒定員720人と定める。
平成15年1月30日	管理教室棟完成、特別教室棟改築完了
平成15年2月25日	武道場完成
平成15年4月1日	男女共学、芸術科開科（普通科5学級、芸術科1学級）
平成17年4月1日	全学年男女共学となる。
平成23年11月2日	創立110周年記念式典挙行
令和3年4月1日	生徒定員680人と定める。
令和4年4月1日	生徒定員640人と定める。
令和4年10月21日	創立120周年記念式典挙行
令和5年4月1日	生徒定員600人と定める。
令和7年4月1日	生徒定員560人と定める。

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

ア グラデュエーション・ポリシー (西高GP)

卒業までに身につけさせたい資質・能力は、「自分を認め、他者を理解し、深く考え、行動する。」力である。これを構成する具体的な資質・能力は、以下のとおりである。「自己肯定力」「協働力」「情操力」「分析力」「思考力」「創造力」「発信力」「行動力」(説明省略)。

イ カリキュラム・ポリシー (西高CP)

- ・ 幅広い学力や進路希望に対応できる教育課程を編成し、生徒一人一人の個性や能力を伸ばす。
- ・ 教育活動全体を通して、自己肯定感や人権感覚を涵養するとともに、他者を尊重し、物事に協力して臨む姿勢を育む。
- ・ 生徒自ら主体的に学び、考え、行動する活動を重視し、多様な経験を積み重ねることで人間的な成長を促す。
- ・ 社会の激しい変化に対応できるよう、課題を発見し探究する力を育むとともに、豊かな国際感覚を養い、社会貢献できる実践力を育む。
- ・ 芸術を愛好する心と自己の考え方に基づいた表現ができる能力を育む。

ウ アドミッション・ポリシー (西高AP)

- ・ 校訓「克己」のもと、学校生活に意欲的に取り組み、自己の在り方生き方を深く考え、行動しようとする生徒。
- ・ 知的探究心を持ち主体的に学ぶとともに、特別活動等を通して人間性・社会性を高めようとする生徒 (普通科)。
- ・ 芸術に対する深い興味、高い学習意欲があり、明確な目標を掲げて専門的な知識・技能を習得しようとする生徒 (芸術科)。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

学校創立 120 年の歴史と伝統及び普通科・芸術科併置校の特色と実績を踏まえ、文・武・芸の三道鼎立を実践し、変化の激しい新たな時代において学校のさらなる魅力化を目指して、以下の取組について全校体制で推進する。

ア 主体的な学びを通して、確かな学力及び論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を育成する。(西高GPのうち、思考力、協働力、発信力に関連)

イ 社会的自立に必要な資質・能力と豊かな人間性及び帰属意識を涵養する。(西高GPのうち、自己肯定力、協働力、情操力、創造力、行動力に関連)

ウ 高い志とチャレンジ精神を育み、自己実現を支援するキャリア教育を実践する。(西高GPのうち、自己肯定力、分析力、思考力、発信力、行動力に関連)

エ 芸術に対する関心・理解を深め、生涯を通じて芸術に親しみ愛する姿勢を育成する。(西高GPのうち、情操力、思考力、創造力、発信力、行動力に関連)

オ 地域の特色や課題及び異文化や多様性に対する理解を深め、探究的な態度やグローバルな視点で課題解決に取り組む力を育成する。(西高GPのうち、協働力、分析力、思考力、創造力、発信力、行動力に関連)

カ 安全・安心な学校づくりと働き方改革を踏まえて、教育環境、施設を整備し、教育活動を充実させる。

キ 効果的な情報発信により家庭や地域との連携を強化し、信頼される学校・開かれた学校を構築する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	主体的な学びを通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を有する生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の進路目標実現に向けて、主体的に授業や家庭学習に取り組んでいる」と回答する1年生60%以上、2年生70%以上、3年生90%以上 「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒80%以上 授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員100% 「朝読書が充実した」と回答する生徒90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の進路目標実現に向けて、主体的に授業や家庭学習に取り組んでいる」と回答する1年生62.2%(a)、2年生71.9%(a)、3年生77.9%(b) 「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒68.6%(c) 授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員97.1%(a) 「朝読書が充実した」と回答する生徒67.8%(c) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年生は主体的な学びを自覚しており、教員の授業改善もほとんどの教員が取り組んでいることから、取組目標に向かっていると考えられる。課題としては、持論の形成と論理表現力の獲得であろう。 自主的・自発的な読書ができることも課題である。
イ	社会的自立に必要な資質・能力と豊かな人間性及び帰属意識を涵養する。	<ul style="list-style-type: none"> 「毎日の健康観察を含め、心身の健康保持に努めた」と回答する生徒90%以上 「気持ちの良い挨拶ができる」と回答する生徒80%以上 「服装はいつもしっかりしている」と回答する生徒90%以上 「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒90%以上 県大会以上出場部活動15部活以上 「興味を持って主体的に部活動に取り組んでいる」と回答する生徒80%以上 部活動再編に向けた検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「毎日の健康観察を含め、心身の健康保持に努めた」と回答する生徒71.6%(c) 「気持ちの良い挨拶ができる」と回答する生徒74.2%(b) 「服装はいつもしっかりしている」と回答する生徒81.5%(b) 「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒64.9%(c) 県大会以上出場部活動16部活(b) 「興味を持って主体的に部活動に取り組んでいる」と回答する生徒73.4%(b) 部活動再編に向けた検討を進めた。(c) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策の健康観察が緩くなっている一方で、体調不良の際には大事をとることは継続されているように見える。健康保持・増進は課題である。 挨拶や服装等による他者への配慮や、帰属している集団との関係性を意識した行動を促したい。 部活動の在り方を検討していくことは継続していく必要がある。
ウ	高い志とチャレンジ精神を育み、自己実現を支援するキャリア教育を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 進路目標が明確な1年生70%、2年生80%、3年生90% 「進路行事が有意義だった」と回答する生徒70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 進路目標が明確な1年生51.7%(b)、2年生61.4%(b)、3年生76.3%(b) 「進路行事が有意義だった」と回答する生徒65.4%(b) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な志望校や学部学科を明確にするためにも、探究学習とキャリア形成をつなげた実践が考えられる。
エ	芸術に対する関心・理解を深め、生涯を通じて芸術に親しみ愛する姿勢を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールや潮音祭がより充実した満足度の高いものであったと回答する生徒80%以上 各専攻が企画する演奏会や展覧会、地域貢献活動等の目的や意義を理解し、「意欲的・主体的に取り組んだ」と回答する生徒90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールや潮音祭がより充実した満足度の高いものであったと回答する生徒74.1%(b) 各専攻が企画する演奏会や展覧会、地域貢献活動等の目的や意義を理解し、「意欲的・主体的に取り組んだ」と回答する生徒68.5%(c) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 芸術科の芸術に触れることで、芸術に対する感性が豊かになっていると思われる。芸術科の意欲・主体的な取組が低い結果となったことが課題である。

オ	<p>地域の特色や課題及び異文化や多様性に対する理解を深め、探究的な態度やグローバルな視点で課題解決に取り組む力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究スキルが向上した」と回答する生徒80%以上 ・国際交流を通して異文化、多様性への理解関心が深まったと回答する生徒90%以上 ・「ボランティア活動や地域の活動に参加したことがある」と回答する生徒70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究スキルが向上した」と回答する生徒69.7%(b) ・国際交流を通して異文化、多様性への理解関心が深まったと回答する生徒100.0%(a) ・「ボランティア活動や地域の活動に参加したことがある」と回答する生徒63.5%(b) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標で求められている理解や態度、課題解決力の育成は目標に近づいている。校内だけではなく、探究学習推進等で地域の資源を活用した学びをどう充実させるかが課題である。
カ	<p>安全・安心な学校づくりと働き方改革を踏まえて、教育環境、施設を整備し、教育活動を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校はいじめ防止等を含め「安心安全な学校づくりを推進している」と回答する保護者80%以上 ・「防災避難訓練等により、防災に関する知識・技能が高まった」と回答する生徒80%以上 ・「登下校の際、交通ルールやマナーを守れている」と回答する生徒90%以上 ・定期的に施設点検を行い情報共有する。危険箇所については修繕の早期実現を目指す。 ・「担当業務において、内容の見直しを行った」と回答する教員90%以上 ・時間外在校時間の縮減に努めた教員80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校はいじめ防止等を含め「安心安全な学校づくりを推進している」と回答する保護者85.5%(a) ・「防災避難訓練等により、防災に関する知識・技能が高まった」と回答する生徒73.0%(b) ・「登下校の際、交通ルールやマナーを守れている」と回答する生徒80.8%(b) ・定期的に施設点検を行い情報共有した。危険箇所については修繕の早期実現を行った。(b) ・「担当業務において、内容の見直しを行った」と回答する教員91.4%(a) ・時間外在校時間の縮減に努めた教員82.8%(a) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な学校づくりについては、保護者や生徒から一定の理解を得られている。いじめ防止アンケートや防災避難訓練、交通ルールやマナーの見直しも行った。自転車のヘルメット着用についても進めている。 ・学校の働き方改革に向けた取組では、目標を上回り、今後も継続して取り組む。 ・個人情報の管理等の課題があった。
キ	<p>効果的な情報発信により家庭や地域との連携を強化し、信頼される学校・開かれた学校を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の成長を目指して、学校とPTAの連携が取れている」と回答する保護者70%以上 ・「子供を入学させて良かった」保護者80%以上 ・「学校行事の実施や広報活動により教育内容が説明されている」保護者80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の成長を目指して、学校とPTAの連携が取れている」と回答する保護者82.8%(a) ・「子供を入学させて良かった」保護者91.2%(a) ・「学校行事の実施や広報活動により教育内容が説明されている」保護者84.8%(b) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席等の連絡方法の新規導入やクラウド等の活用により情報共有を図った。 ・ホームページの改修やInstagramによる発信で広報活動を行った。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	主体的な学びを通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を有する生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な学習態度の確立 ・ 授業、家庭学習への取組 ・ 授業における言語活動 ・ 朝読書、ビブリオバトル ・ 「探求と表現」における課題研究とプレゼンテーション ○ 授業改善の推進 ・ 授業公開、校内研修の充実 ・ ICT機器の活用促進 ・ 観点別学習状況の評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分の進路目標実現に向けて、主体的に授業や家庭学習に取り組んでいる」と回答する1年生70%以上、2年生80%以上、3年生90%以上 ・ 「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒80%以上 ・ 授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員100% ・ 「読書に積極的に取り組んだ」と回答する生徒80%以上 	教務課 進路課 図書研修課
イ	社会的自立に必要な資質・能力と豊かな人間性及び帰属意識を涵養する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確立と社会規範の遵守 ・ 自己管理、自覚・責任ある行動 ・ 心身の健康保持 ・ 情報機器の活用と情報リテラシー ○ 西高生としての自覚と誇り ・ 集団帰属意識、良好な人間関係 ・ 自己肯定感の向上、愛校心 ・ リーダーシップの育成 ○ 部活動の充実 ・ 主体的な取組、上位大会進出 ・ 運営改善と再編等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「心身の健康保持に努めた」と回答する生徒80%以上 ・ 「気持ちの良い挨拶ができる」と回答する生徒80%以上 ・ 「服装はいつもしっかりしている」と回答する生徒90%以上 ・ 「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒80%以上 ・ 県大会以上出場部活動15部活以上 ・ 「興味を持って主体的に部活動に取り組んでいる」と回答する部活加入者80%以上 ・ 部活動再編に向けた検討を継続する。 	生徒課 部活動委員会
ウ	高い志とチャレンジ精神を育み、自己実現を支援するキャリア教育を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路指導計画・シラバス ・ 進路意識の高揚、明確な目標 ・ 講習等の効果的な実施 ・ 「学びの基礎診断」、模擬試験のPDCAサイクルによる活用 ・ 進路情報の発信と活用 ・ 大学出張講義、社会人講演会等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路目標が明確な1年生70%、2年生80%、3年生90% ・ 「進路行事が有意義だった」と回答する生徒70%以上 	進路課
エ	芸術に対する関心・理解を深め、生涯を通じて芸術に親しみ愛する姿勢を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事等の実施 ・ 潮音祭における展示、発表等 ○ 芸術科の取組 ・ 専門的な教育と校外での活動 ・ 地域交流の積極的な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱コンクールや潮音祭が充実した満足度の高いものであったと回答する生徒80%以上 ・ 各専攻が企画する演奏会や展覧会、地域貢献活動等の目的や意義を理解し、「意欲的・主体的に取り組んだ」と回答する生徒90%以上 	生徒課 芸術科

オ	地域の特色や課題及び異文化や多様性に対する理解を深め、探究的な態度やグローバルな視点で課題解決に取り組む力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○探究活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・探究、協働的な学習 ・地域資源、地域人材の活用 ○国際交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・台湾との交流 ・オンラインによる交流 ○地域連携・協働 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会、部活動による地域活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究スキルが向上した」と回答する生徒80%以上 ・国際交流を通して異文化、多様性への理解関心が深まったと回答する生徒90%以上 ・「ボランティア活動や地域の活動に参加したことがある」と回答する生徒70%以上 	探究推進室 学年 英語科 教科 生徒課 部活動
カ	安全・安心な学校づくりと働き方改革を踏まえて、教育環境、施設を整備し、教育活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○「命を守る」教育 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止、いじめ対応 ・交通事故防止と防災力の向上 ○施設の点検及び整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の発見と迅速な対応 ・施設の定期点検と整備 ○コンプライアンス意識の向上 ○業務改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の見直しと効率化 ・時間外勤務の縮減 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校はいじめ防止等を含め「安心安全な学校づくりを推進している」と回答する保護者80%以上 ・「防災避難訓練等により、防災に関する知識・技能が高まった」と回答する生徒80%以上 ・「登下校の際、交通ルールやマナーを守れている」と回答する生徒90%以上 ・定期的に施設点検を行い情報共有する。危険箇所については修繕の早期実現を目指す。 ・「担当業務において、内容の見直しを行った」と回答する教員90%以上 ・時間外在校時間の縮減に努めた教員80%以上 	生徒課 総務課 事務部 管理職
キ	効果的な情報発信により家庭や地域との連携を強化し、信頼される学校・開かれた学校を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との連携、情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報発信、講演会等 ・効果的なPTA活動の計画及び実施 ○広報活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関との連携 ・学校HP、インスタグラムの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の成長を目指して、学校とPTAの連携が取れている」と回答する保護者80%以上 ・「子供を入学させて良かった」保護者80%以上 ・「学校行事の実施や広報活動により教育内容が説明されている」保護者80%以上 	総務課 管理職

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
6年度	<p>1 主体的な学びを通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を有する生徒を育成する。 ○主体的な学習態度の確立</p> <p>2 高い志とチャレンジ精神を育み、自己実現を支援するキャリア教育を実践する。 ○進路指導計画・シラバス</p> <p>3 芸術に対する関心・理解を深め、障害を通じて芸術に親しみ愛する姿勢を育成する。 ○学校行事等の実施 ○芸術科の取組</p> <p>4 地域の特色や課題及び異文化や多様性に対する理解を深め、探究的な態度やグローバルな視点で課題解決に取り組む力を育成する。 ○探究活動の推進 ○国際交流の推進 ○地域連携・協働</p>	<p>【成果】</p> <p>1 総合的な探究の時間「探求と表現」における課題研究とプレゼンテーション、校内ビブリオバトル大会等の実施</p> <p>2 講習（土曜講習、Sクラス講習、3年生平日講習、3年生夏季通学講習、情報特別口座）、大学出張講義、社会人後援会、看護医療の職業体験等の実施</p> <p>3 〈学校行事〉学校祭における展示・発表、合唱コンクール等の実施、〈芸術科〉中学生個別レッスン、芸術科入試説明会、中学校教員対象説明会、個別説明会、中学校1・2年生対象芸術科説明会の実施、〈音楽専攻〉夏の演奏会、1・2年生演奏会、卒業演奏会、近隣小学校音楽交流会、地域交流演奏会、近隣中学校合唱指導等の実施、〈美術専攻〉卒業作品展、1・2年生授業作品展、進学相談会参加、美術館見学等の実施、〈書道専攻〉専攻展、卒業制作展、近隣小中特別支援学校書写指導、美術館・博物館見学、夏季集中練成会、江原素六記念祭参加等</p> <p>4 〈探究推進〉静岡県教育委員会「行きたい学校づくり」推進事業の沼駿地区「探究学習推進」拠点校指定、〈国際交流〉海外語学研修を台湾で実施、〈地域連携・協働〉近隣小学校読み聞かせボランティア実施</p> <p>【課題】 これらの取組をさらに充実させるとともに、効果的に広報すること。</p>
7年度	<p>1 主体的な学びを通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を有する生徒を育成する。 ○主体的な学習態度の確立</p> <p>2 高い志とチャレンジ精神を育み、自己実現を支援するキャリア教育を実践する。 ○進路指導計画・シラバス</p> <p>3 芸術に対する関心・理解を深め、障害を通じて芸術に親しみ愛する姿勢を育成する。 ○学校行事等の実施 ○芸術科の取組</p> <p>4 地域の特色や課題及び異文化や多様性に対する理解を深め、探究的な態度やグローバルな視点で課題解決に取り組む力を育成する。 ○探究活動の推進 ○国際交流の推進 ○地域連携・協働</p>	<p>【成果目標】</p> <p>1 総合的な探究の時間「探求と表現」における課題研究とプレゼンテーション、校内ビブリオバトル大会等の実施</p> <p>2 講習（土曜講習、Sクラス講習、3年生平日講習、3年生夏季通学講習、情報特別口座）、大学出張講義、社会人後援会、看護医療の職業体験等の実施</p> <p>3 〈学校行事〉学校祭における展示・発表、合唱コンクール等の実施、〈芸術科〉中学生個別レッスン、芸術科入試説明会、中学校教員対象説明会、個別説明会、中学校1・2年生対象芸術科説明会の実施、〈音楽専攻〉夏の演奏会、1・2年生演奏会、卒業演奏会、近隣小学校音楽交流会、地域交流演奏会、近隣中学校合唱指導等の実施、〈美術専攻〉卒業作品展、1・2年生授業作品展、進学相談会参加、美術館見学等の実施、〈書道専攻〉専攻展、卒業制作展、近隣小中特別支援学校書写指導、美術館・博物館見学、夏季集中練成会、江原素六記念祭参加等</p> <p>4 〈探究推進〉静岡県教育委員会「行きたい学校づくり」推進事業の沼駿地区「探究学習推進」拠点校指定、〈国際交流〉海外語学研修を台湾で実施、〈地域連携・協働〉近隣小学校読み聞かせボランティア実施</p>

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員											会計年度任用職員等							合 計					
	教育職員						行政職員					本 務 計	教 諭	主 事	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師	非 常 勤 労 務 職 員	非 常 勤 嘱 託 員		部 活 動 指 導 員	本 務 以 外 計			
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	主 任 実 習 助 手	小 計	事 務 長	主 査	主 任	主 任 技 能 員											小 計		
転出者			1	7	1		9	1				1	10										10	
退職者				2			2						2				4		1				5	7
再任用 (退職)				1			1						1										1	1
転入者			1	6	1		8	1				1	9											9
新任者				1			1						1	1			1					1	3	4
再任用 (新任)				2			2						2											2
差引増減	0	0	0	▲1	0	0	▲1	0	▲1	0	0	0	▲1	1	0	0	▲3	0	▲1	1	▲2	▲2	▲3	

(2) 現員数

(単位：人) (令和6年5月31日現在)

職 名	本 務 職 員											会計年度任用職員等							合 計			
	教育職員						行政職員					本 務 計	教 諭	主 事	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師	非 常 勤 労 務 職 員	非 常 勤 嘱 託 員		部 活 動 指 導 員	本 務 以 外 計	
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	主 任 実 習 助 手	小 計	事 務 長	主 査	主 任	主 任 技 能 員											小 計
人数	1	1	1	39	1	1	44	1	1	1	1	4	48	1	1	1	28	1	0	1	33	81

(再掲) 再任用：教諭ハーフタイム勤務4名

(3) 健康管理について

教職員の心身の健康の維持増進を図るため次のような取組をしている。

- ア 生活習慣病検診、人間ドッグ、指定年齢検診の確実な実施（受診率100%）及び有所見者への早期受診のすすめ
- イ 健康管理医による検診結果の点検と事後措置に関する指導及び個別健康相談の実施
- ウ 学校職員安全衛生委員会による、職場の環境改善及び職場の健康づくり支援事業の実施
- エ 長時間勤務教職員への管理職による個別指導の実施

(4) 教職員の研修について

	令和6年度	令和7年度
目的	<ol style="list-style-type: none"> 1 校内で研究授業を相互に参観し、授業改善を試みた教員が100%となる。 2 学校からの広報活動を通じて、信頼される学校づくりをする。特に効果的な情報発信に力を入れ、きめの細かい学校運営を行う。 3 主体的・対話的で深い学びとなる授業を行うため、特に主体的に学習に取り組む態度の評価基準等を研修し、学習評価に基づいた授業改善を行う。 4 不祥事根絶推進取組として研修を行い、教職員の使命感や倫理観を高め、不祥事根絶を自分のこととして考えられるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員100% 2 学校からの広報活動を積極的にすることを通じて、生徒・保護者に信頼される学校づくりの一助となるよう、職員全体で研修に取り組む。特に情報発信に力を入れ、きめの細かい学校運営に繋げる。 3 生徒指導提要进行を基に、発達支持的生徒指導の視点を理解し、生徒への支援の在り方を考える。 4 不祥事根絶推進取組として研修を行い、教職員の使命感や倫理観を高め、不祥事根絶を自分のこととして考えられるようにする。
研修内容及び成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 年間で2回の校内研究授業月間を設定し、授業者は研究授業を行い、参観者はフィードバックを行う。さらに、定期訪問の際に、公開授業を行い授業検討会の中で相互フィードバックを行い、授業改善のための参考とする。生徒からの授業評価アンケートも2回実施した。 2 保護者との連絡を図るツールであるCラーニングの研修、Instagramの活用についての伝達講習、広報業務アドバイザー研修を実施し、どの教職員も広報業務ができるようにする。 3 総合教育センターの指導主事による定期訪問の研修テーマを「学習評価に基づいた授業改善」とし、校内研修で、主体的に学習に取り組む態度の評価方法（特に単元ごとの評価基準の設定、評価場面と評価材料）について、教科ごとに具体的に検討を行った。 4 不祥事根絶推進取組計画に基づき、各月の実施テーマについて職員会議等で研修を行う。管理職からの指導に加え、各担当からも伝達講習や演習等を実施した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 定期訪問の際に、公開授業を行い授業検討会の中で相互フィードバックを行い、授業改善のための参考とする。生徒からの授業評価アンケートも2回実施する。 2 校内広報活動研修を実施し、ホームページの更新方法、情報分野全般（Tナビ、Cラーニング、Googleクラスルーム、百問繚乱）の質疑応答、情報分野の注意点、Instagram更新方法等について習熟する。 3 総合教育センターの指導主事による定期訪問の研修テーマを「発達支持的な生徒指導の充実」とし、「発達支持的生徒指導」についての講義を受け、理解を深める。さらに、生徒への支援の在り方を考える演習を小グループで行い、他のグループの成果を参照する。学校の全ての教育活動で、チーム学校として発達支持的生徒指導を推進できるようにする。 4 不祥事根絶推進取組計画に基づき、各月の実施テーマ及び県教委からの通知の内容について職員会議等で研修を行う。管理職からの指導に加え、各担当からも伝達講習や演習等を実施する。
課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 特に総合的な探究の時間における探究的な学びについて、目標、育成すべき資質能力や評価方法等を充実させることと、また地区の探究学習推進のコンソーシアム構築についての研修の必要がある。 2 個別最適な学びと協働的な学び、主体的・対話的で深い学び、学習評価（観点別学習状況評価と目標に準拠した評価）について見直し、改善する必要がある。 3 一般型・総合型選抜・学校推薦型のそれぞれに対応した指導ができるように一人ひとりの教員の指導力向上の研修が必要である。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業の相互参観と広報活動については、教員の自主的・自発的な実施のために、今後も継続して啓発していく必要がある。 2 教員による不適切な言動を防止し、学習指導を充実させ、本校の教育活動を推進していくためにも、発達支持的生徒指導を徹底できるようにしたい。 3 不祥事全般の根絶の中でも、個人情報流出防止、体罰・不適切な言動防止の徹底が重点課題である。

6 防災対策について

	令和6年度	令和7年度
目的	<ol style="list-style-type: none"> 「危険等発生時対処要領」に基づき、教職員が発災時に迅速な対応がとれるように共通理解を深める。 地域防災力を向上させるために地域との連携を継続する。 	<ol style="list-style-type: none"> 「危険等発生時対処要領」に基づき、教職員が発災時に迅速かつ適切な対応がとれるように共通理解を深める。 地域防災力を向上させるために地域との連携を継続する。
取組内容及び成果	<ol style="list-style-type: none"> <避難訓練> 4・8・12月 地震・津波避難訓練は放課後部活動中やHR中など、様々な場面を想定して計画する。12月の防災訓練は、1年生及び3年生と地域住民の方が協力し、マンホールトイレの説明と設置訓練を実施した。 <職員研修> 6月27日 東部地域局の指導のもと、「危険等発生時対処要領」を元に、地震が起きた際の各分掌ごとの役割の紙上訓練を実施し、問題点を共有した。 <防災リーダーの育成> 4・3月 防災訓練の一環として、生徒地区会の中で「アプレンティスシップ活動」を実施した。4月には上級生が新入生に本校の防災の取り組みや通学上の危険箇所等についてレクチャーを行い、3月には新年度に向けて準備することができた。 <防災教育の推進> 防災訓練や委員会・学校行事等の活動を通じ、生徒が防災を主体的に捉えられるように指導助言を継続する。 <防災委員会> 防災委員による「防災だより」を発行した。また文化祭での展示啓発を通して、生徒自身による防災意識向上を促進することができた。 	<ol style="list-style-type: none"> <避難訓練> 4・8・12月 地震・津波避難訓練は放課後部活動中やHR中など、様々な場面を想定して計画する。12月の防災訓練は、地域住民の方が協力し、マンホールトイレの説明と設置訓練を実施する予定である。 <職員研修> 6月26日 東部地域局の指導のもと、避難所運営について地震が起きた際の問題点を共有した。段ボールトイレの作り方について研修を行う。 <防災リーダーの育成> 4・3月 防災訓練の一環として、生徒地区会の中で「アプレンティスシップ活動」を実施する。4月には上級生が新入生に本校の防災の取り組みや通学上の危険箇所等についてレクチャーを行った。3月には新年度に向けて準備する計画である。 <防災教育の推進> 地域と連携し、防災訓練や委員会・学校行事等の活動を通じ、生徒が防災を主体的に捉えられるように指導助言を推進する。 <防災委員会> 防災委員による防災備品の確認を実施する予定である。CラーニングやGoogleクラスルームを用いて生徒に防災に関する情報を配信し意識を高めていく。
課題	<ol style="list-style-type: none"> 学校が避難所になった際の支援手順について、市との定期的な意見交換や確認が必要である。 地域との連絡等について、より効率的な在り方を検討していく。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校が避難所になった際の支援手順について、市や地域との定期的な確認を継続することが必要である。 千本小学校が統合されることにより、本校の地域防災における役割を確認する。

7 学校開放について

学校の施設設備を有効に活用するため、学校行事に支障のない範囲で開放している。

令和6年度

施設名	延利用日数 (日)	延利用人数 (人)	利用者負担金 (円)	主な利用種目	備考
体育館	234	2,776	53,956	バスケットボール	
武道場	19	107	3,329	空手	
音楽室	23	628	2,566	合唱	
普通教室	66	13,649	66,338	PTA事業 (土曜講習等)	
計	342	17,160	126,189		

令和7年度

(令和7年5月31日現在)

施設名	延利用日数 (日)	延利用人数 (人)	利用者負担金 (円)	主な利用種目	備考
体育館	34	284	9,734	バスケットボール	
音楽室	2	59	112	合唱	
計	36	343	9,846		

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、 第56条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運 営に関する こと	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等高校生等臨時支援金事務処理要綱 高等学校等修学支援事業費補助金（高校生等臨時支援）交付要綱 高等学校等修学支援事業費補助金（奨学のための給付金）交付要綱 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第44条、第45条、第47条） 静岡県補助金等交付規則

□□□□

学 校 施 設 の 概 要

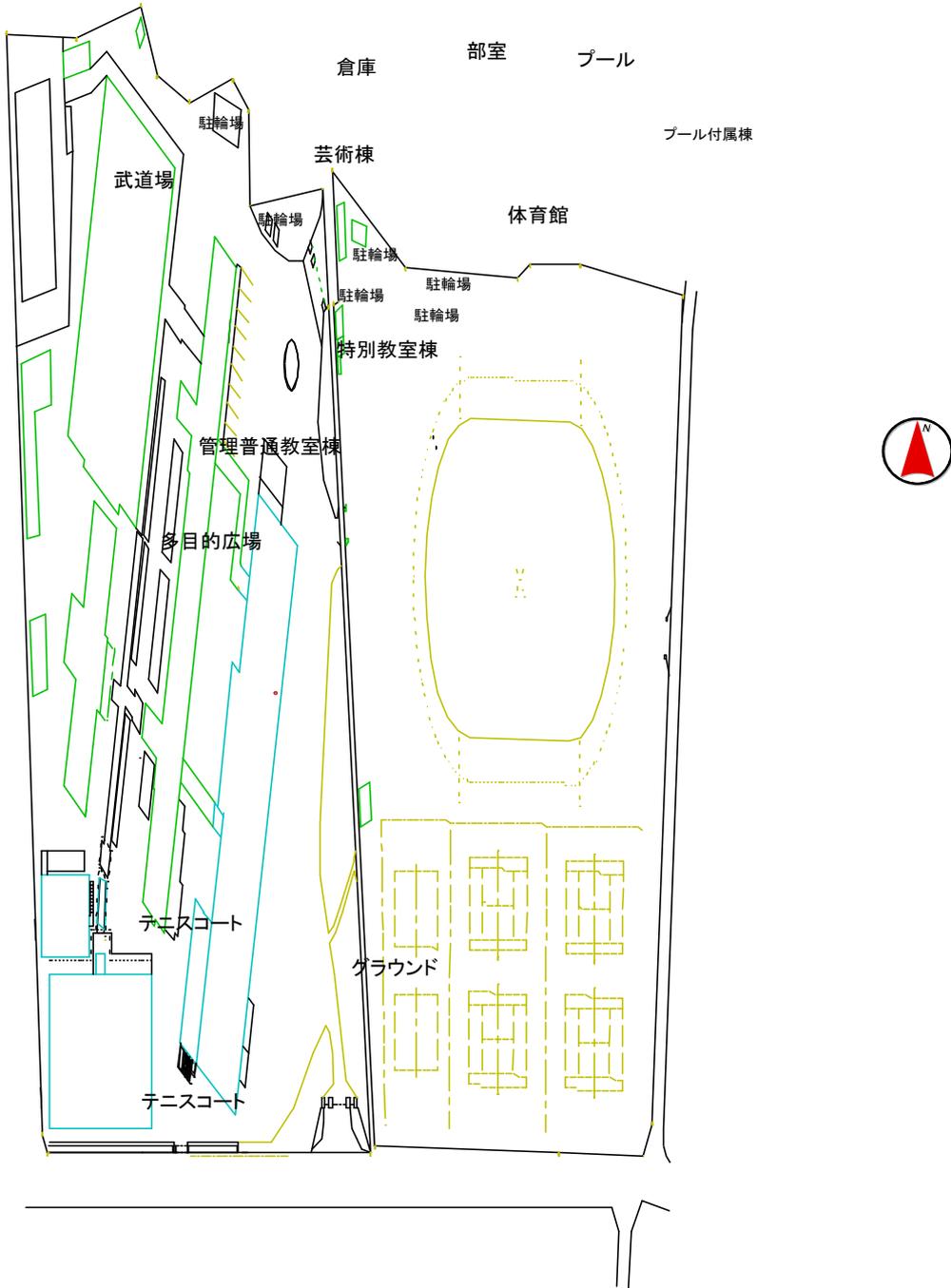
1 面積及び所有区分

(令和7年5月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳			摘 要
		県 有 m ²	市 町 有 m ²	後援会有 m ²	
学 校 敷 地	30,197.00	29,842.00	355.00		
内 訳	校 舎 敷 地	16,260.00	15,986.00	274.00	
	運 動 場 敷 地	13,937.00	13,856.00	81.00	
	そ の 他 の 敷 地	0.00	0.00	0.00	
校 舎	建 2,874.54	2,874.54			
	延 8,744.29	8,744.29			
体 育 館	建 1,574.71	1,574.71			
	延 1,815.12	1,815.12			
武 道 場	建 859.36	859.36			
	延 775.00	775.00			
そ の 他 の 建 物	建 1,092.08	1,072.21		19.87	
	延 1,336.28	1,316.41		19.87	
プ ー ル	763.00	763.00			25m・7コース
職 員 住 宅	2戸	2戸			2戸

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	30,197.00 m ²	8,744.29 m ²	13,856.00 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

□□□□

在籍生徒調

(令和7年5月31日現在)

学年	学科別 区分		普通科				芸術科				合計			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1 年	入学者		120	58	67	125	40	2	35	37	160	60	102	162
		増加												
		減少												
	現在			58	67	125		2	35	37		60	102	162
2 年	入学者		160	75	91	166	40	6	31	37	200	81	122	203
		増加		(1)		(1)						(1)		(1)
		減少												
	2年時当初			76	91	167		6	31	37		82	122	204
		増加		(1)		(1)						(1)		(1)
		減少		1								1		
	現在			76	91	167		6	31	37		82	122	204
3 年	入学者		160	76	78	154	40	1	33	34	200	77	111	188
		増加												
		減少		2(1)	1	3(1)			2			2(1)	3	5(1)
	2年時当初			73	77	150		1	31	32		74	108	182
		増加		(1)		(1)						(1)		(1)
		減少		3(1)	1	3(1)			1	1		3(1)	2	5(1)
	3年時当初			70	76	146		1	30	31		71	106	177
		増加												
		減少												
現在			70	76	146		1	30	31		71	106	177	
合計			440	204	234	438	120	9	96	105	560	213	330	543

□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度	
学 科 別		普通科	芸術科	普通科	芸術科	普通科	芸術科	普通科	芸術科	普通科	芸術科
生徒定員(A)		160	40	160	40	160	40	160	40	120	40
募集者数(B)		160	40	160	40	160	40	160	40	120	40
志願者数	男	97 ()	4 ()	82 ()	5 ()	84(1)	1()	81()	7()	70 ()	2 ()
	女	101 ()	37 ()	106 ()	20 ()	80()	33()	99()	32()	72 ()	36 ()
	計(C)	198 ()	41 ()	188 ()	25 ()	164(1)	34()	180()	39()	142 ()	38 ()
受検者数	男	88 ()	4 ()	74 ()	5 ()	77(1)	1()	79()	6()	70 ()	2 ()
	女	101 ()	37 ()	105 ()	20 ()	79()	33()	99()	32()	72 ()	36 ()
	計(D)	189 ()	41 ()	179 ()	25 ()	156(1)	34()	178()	38()	142 ()	38 ()
合格者数	男	77 ()	3 ()	65 ()	4 ()	75(1)	1()	75()	6()	58 ()	2 ()
	女	87 ()	37 ()	99 ()	19 ()	78()	33()	92()	31()	67 ()	35 ()
	計(E)	164 ()	40 ()	164 ()	23 ()	153(1)	34()	167()	37()	125 ()	37 ()
志願倍率(C)/(B)		1.23	1.02	1.17	0.62	1.03	0.85	1.12	0.97	1.18	0.95
受検倍率(D)/(B)		1.18	1.02	1.11	0.62	0.98	0.85	1.11	0.95	1.18	0.95
入学者数	男	77	3	65	4	76	1	75	6	58	2
	女	87	37	99	19	78	33	91	31	67	35
	計(F)	164	40	164	23	154	34	166	37	125	37
充足率 (F)/(A)		1.02	1.00	1.02	0.57	0.96	0.85	1.03	0.92	1.04	0.92

□□□□

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		普通科			芸術科			(計)			
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒 業 生 徒 数		189	158	159	35	34	22	224	192	181	
内 訳	(進学志願者)	(188)	(155)	(155)	(35)	(34)	(22)	(223)	(189)	(177)	
	進 学 者	大学・短大	171	144	146	27	31	20	198	175	166
		専修・各種学 校等	15	11	5	7	2	1	22	13	6
		小 計	186	155	151	34	33	21	220	188	172
	就職者	1	1	4	0	0	0	1	1	4	
	自営者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	進学準備者	2	0	4	1	1	1	3	1	5	
	その他	0	2	0	0	0	0	0	2	0	
合 計		189	158	159	35	34	22	224	192	181	

2 求人状況(全日制のみ)

区 分	4年度	5年度	6年度	7年5月末
就職希望者数	1	1	5	0
求人数	144	220	273	0
求人倍率	144.00	220.00	54.60	0.00

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		普通科	芸術科	(計)
卒 業 生 徒 数		159	22	181
資 格 の 取 得 状 況	英語検定2級	70	1	71
	硬筆書写検定2級	0	3	3
	毛筆書写検定2級	0	3	3
合 計		70	7	77

□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年5月31日現在)

(単位：人)

市町名	沼津市	御殿場市	裾野市	三島市	駿東郡	富士市	その他	合計
生徒数	252	66	68	26	61	20	50	543
構成比%	46.4	12.2	12.5	4.8	11.2	3.7	9.2	100%

(2) 通学方法

(令和7年5月31日現在)

(単位：人)

区分	自転車	バス	電車	徒歩	その他	合計
生徒数	256	7	246	14	20	543
構成比%	47.1	1.3	45.3	2.6	3.7	100%

2 部(クラブ)の加入状況 (令和7年5月31日現在)

(単位：人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		13	9		22
男子	1年	40	14	6	60
	2年	61	17	4	82
	3年	45	17	9	71
	計(A)	146	48	19	213
	構成比	68.6	22.5	8.9	100
女子	1年	37	60	5	102
	2年	39	73	10	122
	3年	26	62	18	106
	計(B)	102	195	33	330
	構成比	30.9	59.1	10.0	100
合計	(A+B)	248	243	52	543
	構成比	45.7	44.7	9.6	100

□□□□

授 業 料 収 納 状 況 調

(全日制) (令和6年度)

期 別	月 別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況	
		1年		2年		3年		計		納期内 収納額	納期後 収納額	収入 未済額		
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額					収納率
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額 = 4,336,200 円 (146 人 × 9,900円 × 3 月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 (内訳) C. 収納必要額 A(±)B = 4,336,200 円
	5													
	6													
	7	50	1,485,000	41	1,217,700	55	1,633,500	146	4,336,200	4,039,200	93.2	0	297,000	
	8											297,000	0	
	計	50	1,485,000	41	1,217,700	55	1,633,500	146	4,336,200	4,039,200	93.2	297,000	297,000	
二 期	7													A. 期首収納権利発生額 = 8,266,500 円 (167 人 × 9,900円 × 5 月) B. 収納権利増減(▲)額 = ▲39,600 円 (内訳) 7月31日:2年:転出▲1 1×9,900円×4月=▲39,600円 C. 収納必要額 A(±)B = 8,226,900 円
	8			1	9,900			1	9,900	9,900	100.0	0	0	
	9													
	10	65	3,217,500	44	2,178,000	57	2,821,500	166	8,217,000	8,068,500	98.2	0	148,500	
	11											148,500	0	
	計	65	3,217,500	45	2,187,900	57	2,821,500	167	8,226,900	8,078,400	98.2	148,500	0	
三 期	12													A. 期首収納権利発生額 = 6,415,200 円 (162 人 × 9,900円 × 4 月) B. 収納権利増減(▲)額 = 円 (内訳) C. 収納必要額 A(±)B = 6,415,200 円
	1	65	2,574,000	41	1,623,600	56	2,217,600	162	6,415,200	6,415,200	100.0	0	0	
	2													
	3													
	計	65	2,574,000	41	1,623,600	56	2,217,600	162	6,415,200	6,415,200	100.0	0	0	
合計		180	7,276,500	127	5,029,200	168	6,672,600	475	18,978,300	18,532,800	97.7	445,500	0	D. 収納必要額 = 18,978,300 円

□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度（令和7年5月31日現在）
	件 数	件 数
静岡県高等学校入学検定料	177	0

□□□□

預 金 調

(令和7年5月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
スルガ銀行 本店営業部	無利息型普通預金	39011	静岡県立沼津西高等学校 資金前渡者 鈴木 康之	0	給与関係用 税金関係用
スルガ銀行 本店営業部	無利息型普通預金	82629	静岡県立沼津西高等学校 資金前渡者 鈴木 康之	0	(自振口) 公 共料金等振 替用
残 高 合 計				0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節	名	会	計	款	項	目	執行済額（円）			
							5年度	6年度	左のうち、 5年度からの 繰越額分	
(12)	委託料	一般会計		教育費	教育委員会費	教育管理費	1,452,000	1,793,000	/	
				教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,057,540	1,478,268		
				教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	64,240	65,120		
				教育費	学校教育費	高校教育費	700,000			
計							3,273,780	3,336,388	0	
(14)	工事請負費	一般会計		教育費	教育委員会費	教育管理費	1,858,560	2,475,000	/	
計							1,858,560	2,475,000	0	
(16)	公有財産 購入費								/	
計							0	0	0	
(17)	備品購入費	一般会計		教育費	高等学校費	高等学校管理費	573,870	140,580	/	
計							573,870	140,580	0	
(18)	負担金、 補助及び交 付金	一般会計		教育費	高等学校費	高等学校管理費	49,566,500	48,435,200	/	
計							49,566,500	48,435,200	0	
(21)	補償、補填 及び賠償金								/	
計							0	0	0	

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年5月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	91,630	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	0
計					91,630	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	4,000	0
計					4,000	0
(21) 補償、補填 及び賠償金						
計					0	0

委 託 料 に 関 する 調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当設金	初計額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
					当初額	変更 増減額	計						
1	エレベーター 保守点検業務委託	東芝エレベーター 静岡支店	726,000	726,000	0	726,000	随契	R6.4.1 }	R6.5.31 R6.6.28 R6.7.31 R6.8.30 R6.9.27 R6.10.29 R6.11.26 R6.12.26 R7.1.29 R7.2.26 R7.3.26 R7.4.24 小計	56,870 56,870 56,870 56,870 56,870 56,870 100,430 56,870 56,870 56,870 56,870 56,870 726,000	エレベーター 保守点検業務	随契一号 (少額)	
2	自家用電気 工作物保安 管理業務委託	高戸電気管理 事務所	345,400	345,400	22,000	367,400	随契	R6.4.1 }	R6.6.17 R6.6.28 R6.7.31 R6.8.19 R6.9.18 R6.10.21 R6.11.26 R6.12.20 R7.1.28 R7.2.21 R6.3.21 R7.4.16 小計	26,400 28,600 28,600 28,600 55,000 28,600 28,600 28,600 28,600 28,600 28,600 28,600 367,400	自家用電気工 作物の維持保 安に関する業 務	随契一号 (少額)	
3	プール浄化 装置点検業 務委託	三友水処理機	237,600	196,680	0	196,680	随契	R6.4.11 }	R6.11.29	196,680	プール浄化 装置点検業務	随契一号 (少額) 一括契約 御殿場高校 御殿場南高校 小山高校 裾野高校 沼津東高校 沼津西高校 沼津城北高校 沼津工業高校 沼津視覚特支 沼津聴覚特支 沼津特支 御殿場特支	
4	産業廃棄物 (薬品)収集運 搬及び処分 業務委託	ジャパンウェイ スト(株)	80,256	80,256	0	80,256	随契	R6.8.7 }	R6.10.29 R6.11.29	80,256	産業廃棄物(薬 品)収集運搬・処 分業務	随契一号 (少額)	
5	沼津地区県 立学校建築 基準法第12 条に基づく 定期点検業 務委託	南一級建築士 事務所 アド 設計室	2,827,000	1,694,000	0	1,694,000	一般	R6.8.13 }	R7.3.21 R7.2.28	1,694,000	建築基準法第 12条に基づく 定期点検業務	一括契約 沼津東高校 沼津西高校 沼津城北高校 沼津工業高校 沼津商業高校 沼津視覚特支 沼津聴覚特支 沼津特別支援	
6	産業廃棄物 (蛍光灯)収集 運搬及び処 分業務委託	セキトランスシ ステム(株)	74,052	74,052	0	74,052	随契	R6.11.1 }	R6.12.16 R7.2.28	74,052	産業廃棄物 (蛍光灯)収集 運搬・処分業 務	随契一号 (少額)	
7	産業廃棄物 (一般)収集運 搬及び処分 業務委託	セキトランスシ ステム(株)	99,000	99,000	0	99,000	随契	R6.11.18 }	R7.2.14 R7.3.24	99,000	産業廃棄物 (一般)収集運 搬及び処分業 務	随契一号 (少額)	
8	産業廃棄物 (一般)収集運 搬及び処分 業務委託	セキトランスシ ステム(株)	99,000	99,000	0	99,000	随契	R7.1.27 }	R7.4.15 R7.3.28	99,000	産業廃棄物 (一般)収集運 搬及び処分業 務	随契一号 (少額)	
	事務関係計	8件								3,336,388			
	工事関係計	0件								0			
	合計	8件								3,336,388			

整理番号	委託業務名	受託者	当初計額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
参考 1	消防用設備 等保守点検 業務委託	(株)藤興産		4,180,000	0	4,180,000		R6.4.1 ∩ R7.3.31			消防用設備 等保守点検	沼津工業高校
参考 2	可燃物収集 運搬処理業 務委託	(有)大真商会		運搬料 25,410円/回 処分料 6.82円/kg	0	運搬料 25,410円/回 処分料 6.82円/kg		R6.4.12 ∩ R7.3.31			可燃物収集 運搬処理業 務	沼津城北高校 単価契約
参考 3	警備業務委 託	セコム(株)		8,316,000	0	8,316,000		R1.10.1 ∩ R6.9.30			警備業務	沼津東高校 R1債務
参考 4	警備業務委 託	セコム(株)		17,820,000	0	17,820,000		R6.10.1 ∩ R11.9.30			警備業務	沼津東高校 R6債務
参考 5	ガスヒートポン プエアコン点 検業務委託	(株)ユアーズ静岡		1,639,000	0	1,639,000		R6.7.9 ∩ R6.9.30			ガスヒートポン プエアコン 点検業務	沼津商業高校
	計	4件										

□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当設金	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) エレベーター 保守点検業務委託	東芝エレベーター(株)静岡支店	円 782,760	円 782,760	円 0	円 782,760	随契	R7.4.1 } R8.3.31	R7.5.29	円 61,600	エレベーター 保守点検業務	随契一号 (少額)
2	自家用電気 工作物保安 管理業務委託	高戸電気管理 事務所	円 426,360	円 426,360	円 0	円 426,360	随契	R7.4.1 } R8.3.31	R7.5.21	円 30,030	自家用電気工 作物の維持保 安に関する業 務	随契一号 (少額)
3	プール浄化 装置保守点 検業務委託	三友水処理(株)	円 183,700	円 183,700	円 0	円 183,700	随契	R7.4.11 } R7.11.28	-	-	プール浄化装 置保守点検業 務	随契一号 (少額) 一括契約 御殿場高校 御殿場南高校 裾野高校 沼津東高校 沼津西高校 沼津城北高校 沼津工業高校 沼津視覚特支 沼津聴覚特支 沼津特支 御殿場特支
	事務関係計	3件								91,630		
	工事関係計	0件								0		
	合計	3件								91,630		
整理番号	委託業務名	受託者	当設金	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
			当初額	変更 増減額	計							
参考1	消防用設備 等点検業務 委託	(株)藤興産		4,378,000	0	4,378,000		R7.4.1 } R8.3.31			消防用設備等 点検業務委託	沼津工業高校
参考2	可燃物収集 運搬処理業 務委託	(有)大真商会		運搬料 25,410円/回 処分料 6.82円/kg		運搬料 25,410円/回 処分料 6.82円/kg		R7.4.8 } R8.3.31			可燃物収集運 搬処理業務	沼津城北高校 単価契約
参考3	警備業務委 託	セコム(株)		17,820,000	0	17,820,000		R6.10.1 } R11.9.30			警備業務	沼津東高校 R6債務
	計	3件										

□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	令和6年度全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	総会・研究協議会	円 4,000	R6.5.1
2	全国芸術高等学校長会費	全国高等学校長協会	規約による (県下3校分)	調査研究、建議並びに陳情、関係諸団体との連絡提携	円 15,000	R6.5.31
3	全国高等学校教頭・副校長会総会参加費	全国高等学校教頭・副校長会	開催要項による	総会	円 4,000	R6.6.28
4	東海四県高等学校校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	研究協議会	円 2,000	R6.7.8
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	円 12,533,400	振替日 R6.7.31
6	全国普通科高等学校長会参加費	全国普通科高等学校長会	開催要項による	研究協議会	円 6,000	R6.8.23
7	東海地区高等学校教頭・副会長連絡協議会参加費	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会会長	開催要項による	研究協議会	円 2,000	R6.9.30
8	全国英語教育研究大会参加費	全国英語教育研究団体連合会(全英連)	開催要項による	研究協議会	円 6,000	R6.10.11
9	全国音楽高等学校協議会参加費	相愛中学校高等学校(事務局)	開催要項による	研究協議会	円 5,000	R6.10.17
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	円 19,829,700	振替日 R6.10.31
11	高等学校等就学支援金	保護者	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	追加で認定された者へ既徴収済授業料相当額を支払う	円 49,500	R6.11.29
12	高等学校等就学支援金	保護者	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	追加で認定された者へ既徴収済授業料相当額を支払う	円 49,500	R6.12.23
13	高等学校等就学支援金	保護者	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	追加で認定された者へ既徴収済授業料相当額を支払う	円 9,900	R6.12.26
14	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	円 15,919,200	振替日 R7.1.31
計		14件			円 48,435,200	

□□□□

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	令和7年度全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	総会・研究協議会	円 4,000	R7.4.18

□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金 額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
1	教育管理費	令和6年度 静岡県立沼津西 高等学校屋内消 火栓設備修繕工 事	沼津市本字千 本地内	円 693,000	円 660,000	円 1,133,000	円 1,793,000
2	教育管理費	令和6年度静岡県 立沼津西高等学 校芸術棟レッスン 室5・6・7空調機更 新工事	沼津市本字千 本地内	円 704,000	円 682,000	円 0	円 682,000
		合 計	2件	1,397,000	1,342,000	1,133,000	2,475,000

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘要
随意 1号 (少額)	永光エンジニアリング(株)	着手 R6.7.9 完成 R6.12.24	円 1,793,000	屋内消火栓の漏水箇所を 修繕する	-	令達 6.5.21 最終支払 7.1.24
随意 1号 (少額)	ニッタエアソリューションズ(株) 沼津営業所	着手 R7.1.27 完成 R7.3.18	円 682,000	芸術棟レッスン室における 空調機更新	済	令達 7.1.6 最終支払 7.4.8
			2,475,000			

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 3,065,341		千円 682		千円 29,843		千円 3,036,180	
土 地	m ² 29,842.00	2,500,744					m ² 29,842.00	2,500,744	
立 木 竹	本 98	1,797			1	75	本 97	1,722	
建 物	m ² <u>6,380.82</u> 12,650.82	542,770				27,247	m ² <u>6,380.82</u> 12,650.82	515,523	
工 作 物	個 78	20,030	5	682		2,521	個 83	18,191	
普通財産		0		0		0		0	
建 物	m ² <u>91.09</u> 144.08	0			m ²		m ² <u>91.09</u> 144.08	0	
工 作 物	個 4	0			1	0	個 3	0	
公有財産に 準ずるもの		107						107	
電話加入権	件 5	107					件 5	107	

令和7年度中増減なし

□□□□

借地借家等調

(令和7年5月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	宅地	沼津市寿町 22-20	住宅敷地	住宅敷地	387.82㎡	無償	無償	R4.4.1～ R9.3.31	一般財団法人 静岡県立沼津西高等学校 校後援会代表理事	職員住宅敷地
2	建物	雑屋建	沼津市本字千本1910-9	軽量鉄骨造		19.87㎡ 19.87㎡	無償	無償	R7.4.1～ R8.3.31	一般財団法人 静岡県立沼津西高等学校 校後援会代表理事	清掃用具等保管倉庫
3	土地	公園	沼津市本字千本1910-180	公園	公園	3,600.00㎡	無償	無償	R7.4.1～ R8.3.31	沼津市長	グラウンド
4	土地	公園	沼津市本字千本1910-88,89	廃道敷	廃道敷	355.00㎡	無償	無償	R5.4.1～ R8.3.31	沼津市長	校舎敷地グラウンド
5	工作物	冷暖房装置	沼津市本字千本1910-9			1個	—	474,085	R3.7.1～ R16.6.30	三井住友ファイナンス &リース株式会社	普通教室空調
6	工作物	冷暖房装置	沼津市本字千本1910-9			1個	—	2,485,702	R6.7.1～ R19.6.30	NTT・TCリース株式会社 静岡支店	特別教室空調
7	工作物	築庭	沼津市本字千本1910-88,89			1個	無償	無償	R7.4.1～ R8.3.31	一般財団法人 静岡県立沼津西高等学校 校後援会代表理事	中庭
8	工作物	雑工作物	沼津市本字千本1910-9			1個	無償	無償	R7.4.1～ R8.3.31	一般財団法人 静岡県立沼津西高等学校 校後援会代表理事	サーキットトレーニング施設
計								2,959,787			

□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
長期継続契約	電子複写機賃貸借及び使用契約	電子複写機賃貸借契約 (契約日 令和6年4月1日)	円 452,760	円 90,552	円 90,552	円 90,552	円 90,552	円 90,552
長期継続契約	印刷機賃貸借契約	印刷機賃貸借契約 (契約日 令和6年4月1日)	円 3,498,000	円 699,600	円 699,600	円 699,600	円 699,600	円 699,600

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年5月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料(円)		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	沼津市本字千本1910-9	RC	4階	0.41㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	沼津市長	デジタル地域 防災無線機
2	土地	学校敷地	沼津市本字千本1910-10	学校敷地	学校敷地	本柱3本 支線1条	1,500	6,000	R4. 4. 1～ R9. 3.31	東京電力パワーグリッド(株) 静岡総支社長	電柱・支線 設置用
3	〃	〃	沼津市本字千本1910-9・10	〃	〃	本柱1本 支線2条 支線柱1条	1,500	6,000	R7. 4. 1～ R10.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店	電柱・支線 ・支線柱 設置用
4	建物	事務所建	沼津市本字千本1910-9	RC	4階	1㎡	免除		R6.4. 1～ R9. 3.31	(一財)沼津西高校後援会 代表理事	公衆電話
5	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	1.22㎡	16,770		R7. 4. 1～ R8. 3.31	〃	食品自動販売機3台
	建物	事務所建		RC	4階	2.19㎡					
6	土地	学校敷地	沼津市本字千本1910-10	学校敷地	学校敷地	15.18㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	沼津市長	防災倉庫
7	〃	〃	〃	〃	〃	171.32㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	(一財)沼津西高校後援会 代表理事	中庭
8	〃	〃	〃	〃	〃	297.5㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	〃	サーキット レーニング
9	建物	事務所建	沼津市本字千本1910-9	RC	4階	25.11㎡	免除		R6.4. 1～ R9. 3.31	〃	購買室
10	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	27.53㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	〃	倉庫敷地
11	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	6.14㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	沼津西高校同窓会会長	記念碑 (100周年)
12	〃	〃	〃	〃	〃	1.67㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	〃	記念碑 (飛翔の碑)
13	〃	〃	〃	〃	〃	3.20㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	〃	記念碑 (衣錦尚褻)
14	〃	〃	〃	〃	〃	1.81㎡ 3.64m	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	沼津市長	下水道集水 枘取付管
15	〃	〃	〃	〃	〃	35.25㎡	免除		R6. 4. 1～ R9. 3.31	(一財)沼津西高校後援会 代表理事	団体職員 執務室
	建物	事務所建		RC	4階	13.20㎡					
16	土地	学校敷地	沼津市本字千本1910-10	学校敷地	学校敷地	1.35㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	〃	道路照明灯 カーブミラー
17	〃	〃	沼津市本字千本1910-9・10	〃	〃	1.44㎡	免除		R7. 4. 1～ R12. 3.31	〃	避難看板
18	建物	事務所建	沼津市本字千本1910-9	重量鉄骨造	1階	2㎡	143,000		R7. 4. 1～ R10. 3.31	ダイドードリンク株式会社	飲料用 自動販売機
19	〃	〃	〃	RC	4階	2㎡	770,000		R7. 4. 1～ R10. 3.31	サントリービバレッジソリューション株式会社	飲料用 自動販売機
合計								941,770			

□□□□

職員公舎管理状況調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	所在地	建築 年月	構造	管理戸(室)数	入居戸(室)数	Bの内他事務所 職員入居(室)数	空家戸(室)数	摘要
				A	B	A-B		
1	沼津市寿町 22-20	S57・3	W2F1棟	2	0	0	2	R8年度解体予定
	計			2	0	0	2	

主要備品調

(令和7年5月31日現在)

整理番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ (一式)	授業・部活等で使用 年間240日	H28. 3	5,076,000 円
2	10-07	鍵盤楽器	チェンバロ ノイペルト テレマン	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H16. 1	2,625,000
3	01-04	移動書庫	コクヨ ハンドル式書類収納庫	事務処理にて使用 年間240日	H15. 2	1,890,000
4	01-04	書類収納庫	イトーキ システム書類収納庫	事務処理にて使用 年間240日	H15. 2	1,712,550
5	10-07	小楽器	ファゴット ビュヒナー 19	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H15. 1	1,370,250
6	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ RX5A	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H14. 12	1,365,000
7	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ RX5A	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H14. 12	1,365,000
8	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ RX5A	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H14. 12	1,365,000
9	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ RX5A	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H14. 12	1,365,000
10	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ RX5A	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H14. 12	1,365,000
11	10-08	書道用器具	表装機 SMスチール DM -L	授業・部活等で使用 年間180日	H15. 3	1,176,000
12	10-12	トレーニング用器具	レッグカール エクステン ションマシン	授業・部活等で使用 年間180日	H 1. 12	1,107,250
13	01-04	書類収納庫	イトーキ システム書類収納庫	事務処理にて使用 年間240日	H15. 2	971,250
14	10-12	トレーニング用器具	バタフライ ローリングマシ ン	授業・部活等で使用 年間180日	H 1. 12	952,750
15	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハC1TD	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H27. 3	950,400
16	01-18	ローパーテーション	イトーキローパーテーション FSXパネル	学校運営上使用 年間240日	H15. 2	940,800
17	02-02	放送装置	松下WP1200Bシリーズ	学校行事・授業・部 活等で使用 年間180 日	H15. 2	913,500
18	10-07	管楽器	チューバ ミラフォンS86	授業・レッスン等で 使用 年間180日	H16. 3	735,000
19	03-03	プロジェクター	電子黒板機能付プロジェク ター (一式)	授業・部活等で使用 年間180日	H29. 3	664,200
20	10-07	打楽器	チャイム プレミア875	授業・部活等で使用 年間180日	H15. 3	614,250

職 員 調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
1	校長	鈴木 康之		□□□□	□□□□	□□□□
2	副校長	平井 剛		□□□□	□□□□	□□□□
3	教頭	渡邊 祥雄	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
4	事務長	島田 真紀	事務総括	□□□□	□□□□	□□□□
5	教諭	山本 敏彦	社会	□□□□	□□□□	□□□□
6	教諭	原 謙一	理科	□□□□	□□□□	□□□□
7	教諭	高橋 克明	数学	□□□□	□□□□	□□□□
8	教諭	名高 由香里	国語	□□□□	□□□□	□□□□
9	教諭	白石 実里	英語	□□□□	□□□□	□□□□
10	教諭	池田 和子	英語	□□□□	□□□□	□□□□
11	教諭	宮嶋 真一	社会	□□□□	□□□□	□□□□
12	教諭	山口 恵	数学	□□□□	□□□□	□□□□
13	教諭	三井 英彰	社会	□□□□	□□□□	□□□□
14	教諭	石井 一則	社会	□□□□	□□□□	□□□□
15	教諭	山田 孝佳	数学	□□□□	□□□□	□□□□
16	教諭	水田 玲美	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
17	教諭	中原 章等	書道	□□□□	□□□□	□□□□
18	教諭	島袋 和美	美術	□□□□	□□□□	□□□□
19	教諭	土屋 雅孝	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
20	教諭	須田 俊輔	理科	□□□□	□□□□	□□□□
21	教諭	藤池 美樹	国語	□□□□	□□□□	□□□□
22	教諭	岡部 寛子	国語	□□□□	□□□□	□□□□
23	教諭	間瀬 幸子	国語	□□□□	□□□□	□□□□
24	教諭	江夏 美千絵	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
25	教諭	多田 大志	数学	□□□□	□□□□	□□□□
26	教諭	杉山 あさこ	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
27	教諭	増山 友香	英語	□□□□	□□□□	□□□□
28	教諭	河窪 俊	英語	□□□□	□□□□	□□□□
29	教諭	中村 心之輔	美術	□□□□	□□□□	□□□□
30	教諭	八木 悠	英語	□□□□	□□□□	□□□□
31	教諭	渡邊 慶仁	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
32	教諭	杉山 大央	数学	□□□□	□□□□	□□□□
33	教諭	佐野 恭一	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□

34	教諭	片山 弘章	数学	□□□□	□□□□	□□□□
35	教諭	風岡 将平	書道	□□□□	□□□□	□□□□
36	教諭	平野 雄大	理科	□□□□	□□□□	□□□□
37	教諭	萩原 和香奈	英語	□□□□	□□□□	□□□□
38	教諭	渡邊 憲人	社会	□□□□	□□□□	□□□□
39	教諭	山中 あすか	国語	□□□□	□□□□	□□□□
40	教諭	阿井 雄平	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
41	教諭	大熊 悠斗	理科	□□□□	□□□□	□□□□
42	教諭	榊 遥	理科	□□□□	□□□□	□□□□
43	教諭	稲葉 美月	国語	□□□□	□□□□	□□□□
44	養護教諭	吉村 真幸	保健	□□□□	□□□□	□□□□
45	主任実習助手	橋本 悦乃	理科	□□□□	□□□□	□□□□
46	主査	望月 和子	会計	□□□□	□□□□	□□□□
47	主任	加藤 慎也	施設管財	□□□□	□□□□	□□□□
48	主任技能員	土屋 茂樹	環境整備	□□□□	□□□□	□□□□
				平均年数	3年2月	

会計年度任用職員等

(令和7年5月31日 現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	外国語指導講師	サブ丽娜・クロックトン	英語	□□□□	□□□□	□□□□
2	教諭(臨)	近藤 靖	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
3	主事(臨)	石井 眞弓	給与・庶務	□□□□	□□□□	□□□□
4	非常勤講師	伊賀 輝子	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
5	非常勤講師	吉川 尚子	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
6	非常勤講師	萩原 明美	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
7	非常勤講師	アジェイ 佳代	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
8	非常勤講師	佐々木 雅子	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
9	非常勤講師	本郷 美津子	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
10	非常勤講師	小林 佳子	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
11	非常勤講師	早田 奏恵	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
12	非常勤講師	吉田 雅俊	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
13	非常勤講師	杉山 希和子	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
14	非常勤講師	山本 香代	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
15	非常勤講師	樽井 直美	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
16	非常勤講師	芹澤 涼子	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
17	非常勤講師	石川ますみ	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
18	非常勤講師	山本 陽子	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
19	非常勤講師	大村 富彦	美術	□□□□	□□□□	□□□□
20	非常勤講師	江間 江美	美術	□□□□	□□□□	□□□□
21	非常勤講師	杉山 哲次	美術	□□□□	□□□□	□□□□
22	非常勤講師	沼田 洋介	美術	□□□□	□□□□	□□□□
23	非常勤講師	渡邊 愛梨	美術	□□□□	□□□□	□□□□
24	非常勤講師	大谷まや子	美術	□□□□	□□□□	□□□□
25	非常勤講師	池谷 公司	書道	□□□□	□□□□	□□□□
26	非常勤講師	笹本 要志	情報	□□□□	□□□□	□□□□
27	非常勤講師	小川 千賀子	家庭	□□□□	□□□□	□□□□
28	非常勤講師	大石 千尋	英語	□□□□	□□□□	□□□□
29	非常勤講師	山田 孝代志	社会	□□□□	□□□□	□□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
30	非常勤講師	佐野昌利	数 学	□□□□	□□□□	□□□□
31	非常勤講師	藤井新也	英 語	□□□□	□□□□	□□□□
32	非常勤労務職員	松本敏治		□□□□	□□□□	
33	校医	白石アンナ	内 科	□□□□	□□□□	□□□□
34	校医	木村裕子	眼 科	□□□□	□□□□	
35	校医	三島丈和	耳鼻咽喉科	□□□□	□□□□	
36	校医	伊東邦彦	歯 科	□□□□	□□□□	
37	薬剤師	渡辺静香	薬 剤 師	□□□□	□□□□	

□□□□

職員の年齢調

(令和7年5月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	□□ 人	
20 歳以上 30 歳未満	□□	
30 歳以上 40 歳未満	□□	
40 歳以上 50 歳未満	□□	
50 歳以上 56 歳未満	□□	
56 歳以上 61 歳未満	□□	
61 歳以上	□□	□□□□
計	□□	平均年齢 □□歳□□月

健 康 管 理

1 6年度受診状況

区 分	内 訳
受 診 状 況	受診者数 □□人 職員数 □□人
受 診 率	100.0%
県 平 均 受 診 率	100.0%

(1) 未受診の理由

2 7年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	<input type="checkbox"/> 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 <input type="checkbox"/> 人
B 2		要経過観察 <input type="checkbox"/> 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療 <input type="checkbox"/> 人
C 2		要経過観察 <input type="checkbox"/> 人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療 □□ (□□) 人
D 2		要経過観察 □□ (□□) 人
D 3		医 療 不 要 □□ (□□) 人
区分者計		□□ (□□) 人
未区分者数		□□ (□□) 人
合計		□□ (□□) 人

(1) 管理区分A～C 2該当者に対する措置状況

- ・健康状態の観察
- ・必要な検査、治療の指示

(2) 未区分の理由

- ア 産休・育休 □ 人
- イ 新規採用 □ 人
- ウ 自己都合による未受診 □ 人
- エ その他 □ 人
()